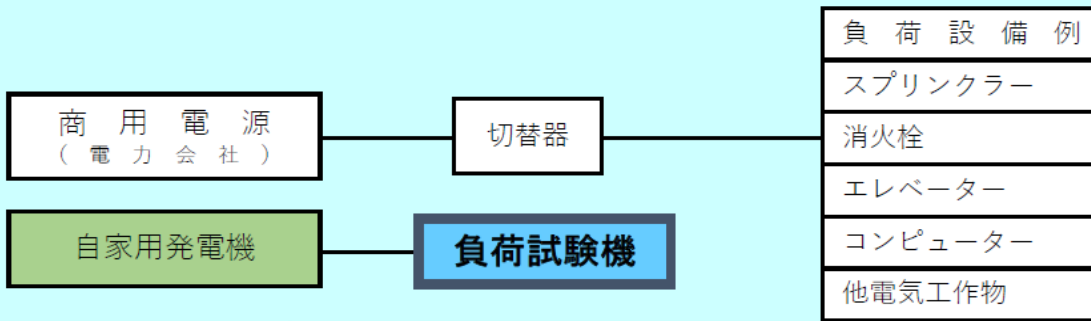


負荷試験機又は実負荷による点検

A. 試験機による負荷試験(商用電源を停電させずに行う)

◇消防用設備及び電気工作物等の当該負荷は一切作動させず負荷試験機にて負荷を10%20%30%と投入し、その時の出力(kW)と電流(A)を測定する。



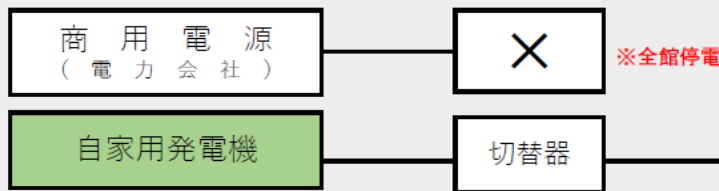
※全館停電をせず、約1時間半の作業

※最大70%以上の高負荷投入が出来、450℃以上の高温に出来る為、堆積カーボンを100%燃焼排出する事が出来る

B. 実負荷点検(全館停電にて行う)

◇専門技術者立会いにて、発電機に接続されている全当該負荷を同時に稼働させて、合計負荷時の出力(kW)と電流(A)を測定する。
(10%20%30%の段階測定は不可)

【点検時】



<当該負荷一例>

負荷設備例	立会人
スプリンクラー	消防設備士
消火栓	消防設備士
エレベーター	電気主任技術者
コンピューター	電気主任技術者
他電気工作物	電気主任技術者

※復電時(0.2秒の周波数誤差)リスク防止にインバーター(UPS)が必要

※30%以上の負荷で連続運転が出来ないケースが多い為、350℃以上の高温で堆積カーボンの燃焼排出は出来ない。

※メーカーが指定した安定数値の測定が出来ない。

◇当該負荷一例

番号	グループ	負荷機器名称	消防設備	記号	台数	換算入出力 KW KVA	出力 mi(kW)	制 御 方 式	単相負荷(kW)			需 要 率 di	分負荷 相当 出力 Mp(kW)	M2の 選定 (A)		
									R-S	S-T	T-R					
1	A	スプリンクラーポンプ (防災)	F-L	MLT	1	55.00	55.00	Y	0.00	0.00	0.00	—	107.90	472.46		
2	A	補助加圧ポンプ (防災)		MLT	1	2.20	2.20	L	0.00	0.00	0.00	—	—	—		
3	A	泡消火ポンプ (防災)	F-L	MLT	1	18.50	18.50	Y	0.00	0.00	0.00	—	—	—		
4	A	補助加圧ポンプ (防災)		MLT	1	2.20	2.20	L	0.00	0.00	0.00	—	—	—		
5	B	排煙ファン (防災)		MLT	1	30.00	30.00	Y	0.00	0.00	0.00	—	45.00	208.25		
6	B	排煙ファン (防災)		MLT	1	7.50	7.50	L	0.00	0.00	0.00	—	—	—		
7	B	排煙ファン (防災)		MLT	1	7.50	7.50	L	0.00	0.00	0.00	—	—	—		
8	A	ブースターポンプ (防災)	F-L	MLT	1	30.00	30.00	Y	0.00	0.00	0.00	—	—	—		
9	ZZ	非常用ELV① (防災)		EV	1	17.00	20.81	VF	0.00	0.00	0.00	—	41.62	0.00		
10	ZZ	非常用ELV② (防災)		EV	1	17.00	20.81	VF	0.00	0.00	0.00	—	—	—		
算出									負荷出力合計値 K = 194.52			0.00	0.00	0.00		
											最大値：A = 0.00 最大値：B = 0.00 最大値：C = 0.00	選定	<A>の値が最大となる mi=M2=10 7.90			